



令和4年産 やまだわら 栽培基準

機械移植基準日 6月1日~15日



球磨地域農業協同組合

令和4年1月作成

業務用多収米の取り組み

生産物の出荷時には生産履歴を提出しましょう。

JA米の要件

- ・種子更新の徹底
- ・栽培履歴の記帳
- ・農産物検査の実施

- 1.土づくりの徹底:◎完熟堆肥の投入◎土壌改良材の投入 2.種子更新の徹底 3.健苗育成 4.適正な水管理・肥培管理と適期防除励行
5.適期刈取励行と乾燥調整適正化(玄米水分15%・整粒歩合80%以上・網目1.80mm以上) 6.目標 720kg/10a

稲の一生	水管理																			
	5月			6月			7月			8月			9月			10月				
項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			
生育期	播種期		育苗期		移植期		有効分けつ期		無効分けつ期		穂の発育期		出穂期		乳熟期		登熟期		成熟期	
主な作業	種子の予措 浸種は充分に行う		播種 ●つす播の励行		●肥基基準参照 ●圃場の準備		●1株3~5本 田植		●中干し ●1株18本程度になったら中干しを行う		●倒伏防止対策		●穂肥 ●出穂前14~18日 ●間断灌水		●カメムシ防除		●間断灌水		●落水 ●出穂後35日以降 ●適期刈取り ●15行 ●20%位より ●青刈残存率	
	※育苗シートは早めにとる(苗を伸ばしすぎない)			※苗が徒長気味の際は浅水管理し生育抑制						※出穂前後は深水にしその後は、間断灌水			※登熟確保のため落水は遅めにする							

間断灌水の効果

- ◎土中に適度な酸素を送り、根の伸長をうながし、出穂後は分枝根の発生を盛んにする。根の活力維持につながる。
- ◎燐酸、加里、珪酸などの無機成分の吸収を良くし、健全な稲となり受光態勢が良くなる。倒伏に強くなり、登熟向上につながる。

◎土づくりの徹底

基本肥料設計

◎肥料設計

	肥料名	基肥	N	P	K
土壌改良材	スーパーエンリッチ1号	60		9.0	
	重焼燐ミックス	40		5.6	
一発肥料	すご稲R2753(110日)	40	10.8	2.0	1.2
計	スーパーエンリッチ1号を使用した場合		10.8	11.0	1.2
	重焼燐ミックスを使用した場合		10.8	7.6	1.2

※土壌改良材はいずれかをご使用ください。

※やまだわら栽培については、業務用多収米の取り組みを基本としていますので、極力基本設計での栽培をお願いします。尚、機械装備等により出来ない場合は、実情に即した施肥をお願いします。他、施肥基準については営農センターへご相談ください。

◎栽培のポイント

- 土づくり対策:土壌改良材等を施用し、根群域を拡大し根の活力を維持する。
- 健苗育成:早期の活着と必要茎数確保に努める。
- 移植時期:6月1日~15日を基本とする。
- 施肥管理:収量を確保するため多肥栽培をし、葉色等により追肥及び穂肥の施用を行う。

※農薬使用基準は、JAくま水稲(ヒノヒカリ)耕種基準に準じる。

薬剤使用にあたっては、必ず商品ラベルの表示を確認し、ラベル記載通りに使用してください。

薬剤散布時には、隣接圃場への飛散防止に努めてください。

箱施用剤基準

※必ず指定量使用

農薬名	1箱当たり 使用量	使用時期	主な対象病害虫				
			いもち病	白葉枯病	コブノメイガ	ウンカ類	ツマグロヨコバイ
ブイゲットフェルテラ ゼクサロンL粒剤	50g	緑化期~ 移植当日	○~◎	○	○	◎	○
防人箱粒剤	50g	は種時(覆土前) ~移植当日	◎	○	○	◎	○

専用除草剤使用基準

項目	農薬名	施用時期	使用量(10a)
一発処理剤	粒剤	ウルフェース粒剤17	3kg
	フロアブル剤	サラブレッドKAIフロアブル	500ml
	ジャンボ剤	サラブレッドKAIジャンボ	10パック

「やまだわら」は除草剤成分、ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオンに感受性があり、使用する除草剤には注意。上記以外の除草剤の使用はお控えください。

◎やまだわらの特徴

- 一般食用品種に比べ倒伏に強く、玄米収量は多肥栽培で30%程度の多収になりますが、熟期が遅い品種なので遅植えをすると成熟期に達せず、登熟不良となり減収の恐れがあります。
- 熟期は「晩生の晩」。
- 玄米の外観品質は「中中」で、炊飯米での粘りは強すぎず「コシヒカリ」よりも粘りが弱い食感です。
- 縞葉枯病にやや弱いため、縞葉枯病常発地には適さない。
- 除草剤成分ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオンに感受性があり、使用する除草剤に注意が必要。
- 田植後、圃場に入りますと白葉枯れの発生原因となりますので、注意して下さい。

農薬散布の注意

農薬は使用基準を守って正しく使いましょう!

※河川付近等では危被害防止のため、散布時期・剤型に注意しましょう!

●上球磨営農センター

TEL 0966-42-6677

●中球磨営農センター

TEL 0966-45-2170

●下球磨営農センター

TEL 0966-28-3060

●JAグリーン上球磨

TEL0966-47-1555/☎0120-576-060

●JAグリーンあぐり

TEL0966-45-1116/☎0120-548-251

●JAグリーン中央

TEL0966-25-2255/☎0120-383-306

●JAグリーン下球磨

TEL0966-26-3211/☎0120-643-211